

# ぎふ政治塾 第1回講座レポート

塾生番号 032 近藤 秀一

## 【第1部】

野田総長には、現実の政治の微妙な難しさの中で、バランス感覚をとることの重要性をご講話いただき、このようなお話を伺うことができ大変感謝しております。

現実には、総務大臣のお立場で、相手の立場や考え方を考慮に入れたうえで、問題の本質を見極め、重要な課題を推進していかれるというお話に、大変説得力を感じました。

「ふるさと納税」で各地方自治体に寄付をされた方々への返礼品についても、寄付という本質から考え、返礼品が過剰になりすぎないようにしなければならないというお話は大変勉強になり、とても納得できました。

今回第8期生として、ぎふ自民党政治塾に入塾を許可していただき、また野田総長のもとで1年間学ぶことができることに心より感謝いたしております。

今後ともよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

## 【第2部】

本日は第2部において、日本大学名誉教授であり、法学博士の阿部先生のご講話を賜わり大変光栄に思いました。

冒頭に、政治家になるためには、学歴はあまり必要ではなく、そのような事にあまりこだわらないほうが良いとおっしゃられました。

できる限り、有権者と触れ合うことが最も重要であると語られました。私も過去に少しだけ政治経験がありますが、先生のおっしゃる通り、有権者の人たちと少しでも多く触れ合う事の必要性を感じます。

演説の時には、とにかくゆっくり語りかけるようにとおっしゃられました。講義時間の中ほどあたりから、塾生一人一人に前に出て演説の方法をご指導いただき、私も前に出てやらせていただきました。実勢に行ってみるなかで、長所、短所をご指摘いただき本当に勉強になりました。

最後に先生は、「私は高齢なので、今日がこの塾での最後の講演になります」とおっしゃられましたが、とても貴重なご講演だっただけに、もうお聞きすることはできないのかと思うと、とても残念に思いました。